

事前指導での伝達・確認事項

①受験票を持っているかの確認

- ・番号は「受検（験）校決定確認書」に控えているか。
- ・裏面を確認する。（大事なことが書いてあることがある。）
- ・裏面に当日の体温を書くようになっている高校もある。
- ・もし事前指導欠席者がいたら、担任が本人への連絡をする。
- ・遠方の県外受験者は少なくとも2日前には事前指導を済ませる。

②高校から出ているプリントを読み合わせる。

【受験票と共に送付されている or すでに届いている】

- ・太字や波線など大事なところを確認する。

③現地に着いたら…

- ◎引率ありの高校は、担当の中学校の先生に挨拶して、受付へ。
- ◎引率なしの高校は、自分で受付する。（時間厳守）
- ・高校指定の30分前には到着するような計画で行かせる。（当日はいつもより交通混雑することもあることを考慮しておく）
- ・会場到着時に「学びポケット」の「出欠連絡」から「その他」で「今から会場に入ります」の連絡を入れる。試験終了時は報告しなくてもよい（⑤の場合を除く）。
- ・体調不良（重篤な症状）で受験ができない場合は、すぐに中学校（3年部）へ電話連絡をする。

④持ち物（携行品）の確認をする。

- ・上靴を持って帰るのを忘れない。（要項確認）
- ・現地で受験票を忘れたことに気づいたら高校の事務室で再発行。（受験票を取りに帰るのではなく、再発行してもらう判断を）
- ・前日に準備物をそろえて就寝する。（携行品は要項で確認。持ち込み禁止の物もあるので確認する。特に時計と通信機器！）

⑤受験中に体調の急変等で、体調を崩したら。

- ・高校の先生にすぐに申し出ること。また、試験後には、中学校（3年部）に電話連絡でそのことを伝えること。

⑥入試の日は中学校に登校はしない。

- ・入試が終わったら、寄り道や買い食いをすることなくまっすぐ家に帰る。（高校から、緊急で家庭に連絡をしてきたことも過去にあった。その日の受験に関することでの問い合わせだった。）
- ・入試が早く終わった生徒は 16:30（中学校がやっている時間）までは自宅で学習する。

⑦スマートフォン等、通信機器の持参について

- ・募集要項を熟読すること。
- ・体験入学同様、持参するかどうかは各家庭の判断とする。入試終了後の家庭連絡用としての持参とし、モラルやマナーに留意する。